平成 30 年度 第 1 回石狩市男女共同参画推進委員会 議事録

日時 平成 30 年 7 月 20 日 (金) 18 時 00 分～19 時 40 分

場所 石狩市役所 3F 庁議室

議事次第

◇開会

◇委嘱状交付

◇委員長挨拶

◇議事

- 1 平成 30 年度男女共同参画実施事業について
- 2 第 3 次石狩市男女共同参画計画進捗状況について (平成 29 年度)
- 3 男女共同参画意識に関するアンケートについて
- 4 第 8 次男女共同参画推進委員会の意見について

◇その他

事務局より事務連絡

◇閉会

出席者

委 員			職 員 (事務局)			
役 職	氏 名	出欠	所 属	役職	氏 名	出欠
委員長	阿部 包	○	環境市民部	部長	新岡 研一郎	○
副委員長	岡本 峰子	○	広聴・市民生活課	課長	時崎 宗男	○
委 員	伊東 優子	×		主査	山本 健太	○
	西澤 理佳	○		主任	小林 利恵	○
	伊藤 美由紀	○		主事	君野 彩花	○
	鎌田 加津枝	○				
	宋戸 秀次	○				
	田原 朋学	×				
	袴田 律子	○				
	新田 大志	○				
	沼田 式朗	○				
村上 讓司	×					

傍聴者 1 名

◇開会

【事務局（時崎課長）】

定刻になりましたので、これより平成30年度第1回石狩市男女共同参画推進委員会を開催します。

本日の欠席は伊東委員、田原委員、村上委員です。

まず始めに資料の確認と本日の予定についてのご説明をさせていただきます。

<事前配布資料>

資料1 平成30年度男女共同参画実施事業一覧

資料2 第3次石狩市男女共同参画計画年次報告書

資料3 男女共同参画意識に関するアンケート実施要項

<当日配布資料>

資料4 第8次石狩市男女共同参画推進委員会の成果

このほか、『第3次石狩市男女共同参画計画』の冊子はお持ちでしょうか。お持ちでない方は、事務局にお伝えください。

本日の会議は19時30分を目処に終了したいと思いますので、円滑な審議にご協力をお願いします。

◇委嘱状交付

【事務局（時崎課長）】

委員の交代がありますので、ご報告いたします。

石狩市校長会、生振小学校校長の安部紀江さんの後任になります、望来小学校校長の伊東優子さん、連合北海道石狩地区連合、芳賀武士さんの後任になります、田原朋学さん、残念ながら、本日はお二方とも欠席となっております。石狩市長からの委嘱状につきましては、後ほどお渡ししたいと考えております。それでは、開会にあたり阿部委員長より一言ご挨拶をいただきたいと思っております。

◇委員長挨拶

【阿部委員長】

みなさんこんばんは。全体的に新しい委員ということでよろしく申し上げます。今日は暑いですが、西日本と比べるとちょうど良いくらいの気温だと思いますので、頑張りましょう。

◇議事

【事務局（時崎課長）】

それでは、これより議事に移りますので、進行を阿部委員長にお願いしたいと思います。

【阿部委員長】

それでは議事に入ります。

「議題1 平成30年度男女共同参画実施事業」について、事務局は説明をお願いします。

【事務局（山本主査）】

それでは、私から平成30年度男女共同参画実施事業についてご説明いたします。

資料は【資料1 平成30年度男女共同参画実施事業一覧】になります。

事前に送付させていただいておりますので、主なものについて読み上げていきますので、ご確認願います。

まず、5/21 に例年開催していますシニアプラザはまなす学園との連携講座を実施しております。昨年度に引き続き、しあわせ連鎖プロデューサーの塩谷隆治さんを講師に招き「ココロとカラダに元気が出る講座」というテーマで、男性も女性も大人も子どもも、それぞれがそれぞれを認め合いながら元気に明るく前を向いて生きていきましょう。といった内容のお話がありました。

次に、6/4 に藤女子大学、6/21 に石狩南高校でデート DV 講座を開催しています。石狩南高校での講座は伊藤委員が講師を務められました。後ほど感想等をお聞かせいただければと存じます。また、今年度は10月頃に石狩翔陽高校でもデート DV 講座の開催を予定しております。

次に、6/19～6/29 まで例年開催しています男女共同参画週間パネル展を実施しております。今年度は、6/19～23 がりんくる、6/25～29 が市役所と2ヶ所での開催を試みました。展示内容は、沼田委員も務めていただいたロールモデルの紹介や第3次計画の紹介、性的マイノリティ、審議会の女性委員の割合のアップに向けた公募状況のお知らせなどを行っています。パネル展を見に来てくださった委員のみなさま、ありがとうございました。

本日以降は、8月から9月にかけて、男女共同参画意識に関するアンケートの実施を予定しております。詳細は議事3でご説明いたします。

10/12 は子育てメッセでの啓発を行います。若年層向けの啓発をテーマに、ワーク・ライフ・バランスを考えるきっかけになる本や個性を尊重することを考えるきっかけになる絵本を紹介いたします。

次に、10/23 には例年開催しています男女共同参画ワークショップを実施いたします。こちらも若年層向けの啓発をテーマに、家事の時短術に関する講演と講演を受けた参加者同士のグループワークを予定しています。講師は札幌市男女共同参画センターに依頼しています。委員のみなさまにおかれましても、平日の日中ではありますが積極的なご参加をお願いいたします。

次に、10/24 は新規事業として男女共同参画セミナーを実施いたします。講師に一般財団法人女性労働協会の桂第二事業部長をお招きし、ハラスメントのない職場づくりをテーマに講演をしていただきます。こちらは市職員や市内事業所を対象としています。

このほか、11月には例年実施しています藤女子大学での女性の生き方という視点の講義、女性に対する暴力をなくす運動パネル展の実施、市HPや広報いしかり、チラシポスター周知等を行ってまいります。委員のみなさまには、都度事業のご案内をさせていただきますので、よろしくお取り計らい願います。

また、資料には記載していませんが、10/22 から10/26 まで、広聴・市民生活課の啓発週間と位置付けております。今年度はじめての取り組みとなりますが、りんくるロビーでのパネル展示と講演会等のイベントを実施する予定となっております。先ほどご説明した、10/23 のワークショップと10/24 のセミナーもこの一環事業となります。そこで、パネル展示の部分で男女共同参画の周知も行う予定でいまして、その協力団体として石狩市男女共同参画推進委員会も連名とさせていただきたいと存じます。よろしくお取り計らい願います。

以上が議事1の平成30年度男女共同参画実施事業の説明となります。

【阿部委員長】

ありがとうございました。ご発言いただく前にお願いがあります。議事録作成のために録音をしますので、私に指名されてからご発言いただきますようお願いいたします。

また、なるべく大きな声でご発言ください。それでは、ご質問などがありましたらお受けします。

【袴田委員】

10/23 のイベントが気になったのですが、今回のテーマは「時短術」ということなので、対象者をどう捉えているのかなと思いました。

【事務局（山本主査）】

子育て世代の女性の方など、対象は幅広く考えています。

【袴田委員】

私自身も仕事をしながら子育てをしているので、家事の時間を短くできないかということは日々思っていることです。働いている人は働いていない人より一層この意識が強いと思いますので、土日の仕事が休みの人が多い日に開催していただけたらよかったですと思いました。今回は仕方ないですが、今後こういった意見も参考にさせていただければと思います。

【事務局（山本主査）】

土日開催をしていた時も今までにありましたが、昨年度はこのイベントを子育てメッセの中で開催してみて、子育て世代の方の参加が多かったという実績もとの結果でした。次年度以降は、袴田委員の意見を踏まえて日程を検討していきたいと思います。ありがとうございました。

【阿部委員長】

先ほど、ワークショップの対象を「お子さんがいる女性」と言っていたと思いますが、ワーク・ライフ・バランスの促進ということであれば、パートナーの方が来れるような日程でもう一度開催するのはどうかと思います。女性が家事の時間を短くするためには、パートナーの協力が必要だと思います。

【岡本副委員長】

男女共同参画センターでも、限られた予算の中で、来られなかった方にどう伝えるかということを考えています。今では、ホームページに講座の内容がわかるものを掲載するとか、予算があるのであれば冊子にしても良いと思います。また、パネル展につきましては、実際にりんくる会場に見に行かせていただきました。そこで、疑問に思ったことがあります。石狩市ではりんくると市役所以外でパネル展をできる場所はないのでしょうか？石狩市は広いのに、りんくると市役所では距離がかなり近くて来られる人が限られてしまうと思います。なので、もっと色々な場所で行えば周知の幅が広がるのではないかと思います。

【事務局（山本主査）】

石狩市は南北に長い地形となっていて、北、南、八幡、厚田、浜益などに公共施設があるので、そこを利用して周知啓発はできるのかなと思います。やはり、人が集まる場所がいいと思うので、病院や温泉なども考えていきたいと思います。

【阿部委員長】

出張パネル展はいい考えですね。最近だと、フェイスブックからユーチューブに繋がる URL が掲載されていて、そこに会議や講演の様子が動画で見られるというものがあるので、これは若い方には使えるのではないかと思います。

他にご意見等はございませんか？なければ次に「議題 2 第 3 次石狩市男女共同参画計画進捗状況」について、事務局は説明をお願いします。

【事務局（山本主査）】

それでは、続きまして第 3 次石狩市男女共同参画計画進捗状況についてご説明いたします。

資料は【資料 2 第 3 次石狩市男女共同参画計画年次報告書】になります。

1 ページから 7 ページまでは施策事業の進行管理になっています。こちらも事前に送付させていただいておりますので、基本目標ごとに特筆すべき事業についてご説明いたします。

まずは、1 ページ 2 ページの基本目標Ⅰ男女共同参画社会の実現をめざす意識づくりです。施策の 1 番は啓発活動の推進ということになります。こちらは市 HP や広報いしかり、チラシ・ポスター・パンフレットによる情報発信、パネル展やアンケートによる呼びかけを行っています。また、市職員の意識づくりについては、資料 1 でご説明したとおり、今年度の新規事業としてハラスメントについての職員研修を実施する予定となっています。

施策の 2 番は子どもの男女共同参画の理解促進になります。こちらは幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校・大学と幅広い年代に、それぞれの状況に応じた教室や講座を実施しています。1 ページ目の一番下、人権を尊重する意識づくりの項目では、平成 29 年度から CAP プログラムに加えて「いのちのはなし」を試行実施しております。平成 30 年度からはこの 2 メニューを各園で選択し実施することとしております。

CAP プログラムは、子どもへの暴力防止（Child Assault Prevention）プログラムの略称で、虐待や性暴力に対して、子ども自身が実践できる護身術としてアメリカで考案されたもの。北海道では北海道 CAP をすすめる会が人権教育プログラムとして実施しています。「いのちのはなし」は、自分は大切な存在だ、かけがえのない存在だと思える自己肯定感が低いことが問題に挙げられているため、生まれたことや元気に過ごすことが奇跡であることを知り、自己肯定感が醸成するきっかけづくりとして実施しています

次に、3 ページから 5 ページの基本目標Ⅱあらゆる分野における男女共同参画の推進です。

施策の 1 番は政策・方針決定過程への女性の参画促進になります。こちらは市政に関することにつきましては、審議会委員への女性の登用促進や女性職員の管理・監督職への登用などを市役所全体として実施しています。企業や地域社会に関することにつきましては、調査の実施や、各団体に文書で直接的な働きかけを行っています。

施策の 2 番は雇用等における環境づくりになります。こちらは調査実施による実態把握や、農協や漁協の女性部、農業経営者に対する活動の支援、ロールモデルや支援制度の周知による意識の醸成などを行っています。

施策の 3 番はワーク・ライフ・バランスの推進になります。こちらは家庭生活、地域社会、企業の 3 分野に分けて事業展開していますが、家庭生活と地域社会の分野については、講座や講演による直接的な働きかけとロールモデルの周知による意識の醸成の 2 段階構えで取り組みを行っています。企業分野については、各種制度やロールモデルの周知を行っています。ロールモデルの周知につきましては、沼田委員をはじめ、現在は 6 名の方にご協力いただいております。今後もどんどんロールモデルにご協力いただき、最終的には 1 冊の冊子にして周知したいと考えております。昨年度同様、委員の皆さまのお知り合いでご推薦できる方がいらっしゃいましたらお知らせいただければと存じます。

最後に、6 ページ 7 ページの基本目標Ⅲ男女がともに安心して暮らせる環境づくりです。

施策の 1 番は子育てと介護における意識づくりになります。共に支援制度等の情報発信をメインに実

施しています。子育てにおいては、平成 30 年度より子育て支援アプリ「いしかり子育てコンシェル by 母子モ」を導入し、健診情報や親子向けイベント情報を発信しています。導入にあたっては、担当課と子育て世代におけるワーク・ライフ・バランスの推進も図ることで調整をしておりますので、今後、例えば議事 1 でお伝えした事業の周知啓発などを実施予定でいます。実際に私もダウンロードしてみました。自動で子育て情報が入手できたり、市のホームページともリンクしているので市の情報も入手できます。子どもの成長を記録することもできます。現在 200 名程の登録者がいるということです。

介護においては、社会的に増加傾向にある認知症についての講座を開催し、理解促進、意識づくりを行っています。

施策の 2 番は DV 対策になります。認知症同様、DV も社会的問題となっていることから切れ目のないきめ細やかな対策が必要となりますので、未然防止策として市 HP やパンフレット、パネル展による啓発などを行っています。中学生にはデート DV 防止リーフレットの周知、高校生大学生にはデート DV 講座の実施、保護者や教員にはデート DV 防止パンフレットの周知と年代や立場に応じたさまざまな啓発を実施しているところです。

被害者に対する支援としては、相談窓口の開設および周知を行い、相談者の安全確保を最優先とした避難の支援を行っています。また、被害者の状況に応じ、関係部署や関係機関と連携し各種手続きを迅速に進めています。また、相談を受ける側の体制として研修会への参加等による知識の習得に努めてまいりました。

次に、8 ページは計画の成果指標の進捗状況になっています。3 次計画の成果指標は 5 項目となります。「Ⅰ 「男女共同参画社会」という用語の周知度」、「Ⅱ-3 「ワーク・ライフ・バランス」という用語の周知度」、「Ⅲ DV にあたる行為を認識している市民の割合」は、男女共同参画意識に関するアンケート結果を反映しています。「Ⅱ-1 市の審議会等委員に占める女性の割合」、「Ⅱ-2 市役所の管理・監督職（主査職以上）に占める女性の割合」は実際の数値が反映されています。

ⅠとⅡ-2、Ⅱ-3 は目標値に向けて数値が伸びていますが、Ⅱ-1 とⅢは前年度を下回る結果となっています。特に「市の審議会等委員に占める女性の割合」が、毎年毎年、あともう少しあともう少しとお伝えしていた状況ですが、11 ページの一番下をご覧くださいと平成 30 年度の数値がでていますが、32.3%まで下がってしまいました。こちらについては、学識経験者や団体推薦が男性しかいないという状況や、公募委員についても女性の応募が少ないという状況もあり、必ずしも市役所全体としての意識低下が要因ということではないのですが、改善策を講じる必要があると感じています。

最後に 9 ページから 11 ページは審議会等委員の女性登用状況になっています。各審議会の平成 30 年 4 月 1 日現在の状況と次期改選時における目標を掲載しています。11 ページの右下に掲載しています次期改選時の目標登用率 38.4%、まずはこの数値の実現を図るよう取り組みを行ってまいります。

以上が議事 2 の第 3 次石狩市男女共同参画計画進捗状況の説明となります。

【阿部委員長】

ありがとうございました。それでは質問等をお受けいたします。

【鎌田委員】

子どもの男女共同参画の理解促進の部分で「いのちのはなし」とありますが、具体的にどのようなのですか？

【事務局（山本主査）】

「いのちのはなし」は、平成 29 年度は施行事業で今年度からは通常事業として行っています。内容は先ほどご説明したとおりで、日本たいわ協会所属のたいわ士の方に来ていただいて、各認定こども園などで実施しているところです。時間は 45 分程度となっています。また、講話だけで終わるのではなく、講話を聞いて感じたことを絵にするなど、より理解を深めるために講話後のフォローもされています。

【鎌田委員】

わかりました。ありがとうございました。

【袴田委員】

私は実際にたいわ士の方のお話を聞いたことがあります。子どもが産まれてから聞いたのですが、とても素敵なお話で更に子どもが愛おしくなりました。子どもが聞くことにより、自分も相手も大切にできるようになることや、いじめの防止にも繋がっていくと思うので、これからも是非拡充していったらいいなと思いました。CAP プログラムか「いのちのはなし」のどちらかを選択するということがすよね？

【事務局（山本主査）】

はい。どちらかを選択するということです。

【鎌田委員】

石狩市にはどのくらい認知症の方いらっしゃるかと把握しているのですか？

【事務局（新岡部長）】

介護認定の判定を市が行っていて、その中には認知症の方も含まれているため、担当課では把握はしていると思いますが、この場では具体的な人数までは把握していません。

【阿部委員長】

審議会の女性登用率の関係ですが、一般公募で女性が公募しにくい理由は審議会の性質など何かあるのでしょうか？

【事務局（山本主査）】

審議会によっては、日中開催の審議会もありますし、全審議会に託児もご紹介しますと条件には出しています。そういった意味でのサポートはしているところではありますが、なかなか伸びてこないという状況です。

【阿部委員長】

ありがとうございます。それでは、他にご意見等ございませんか？なければ次に「議題 3 男女共同参画意識に関するアンケート」について事務局から説明をお願いします。

【事務局（山本主査）】

それでは、続きまして男女共同参画意識に関するアンケートについてご説明いたします。

資料は【資料3 男女共同参画意識に関するアンケート】になります。

先ほども申し上げましたが、第3次計画の達成状況を測るため5つの成果指標を設定しています。このうち「Ⅰ 男女共同参画社会という用語の周知度」「Ⅱ-3 ワーク・ライフ・バランスという用語の周知度」「Ⅲ DVにあたる行為を認識している市民の割合」については、毎年度アンケート調査を実施し把握することとしています。

平成29年度の第2回推進委員会でご報告したとおり、昨年度は8/25から9/11にかけて実施し、アンケート送付数1000件に対し、回収件数が228件で回収率が22.8%でした。昨年度は委員のみなさまからご意見をいただいたWEB回答を実施しているところであり、今年度についても同様に実施してまいります。期間は、今年度も8月下旬から9月上旬を予定しております。集計結果については、9月下旬に予定している第2回推進委員会でご報告させていただきます。2から4ページは、郵送物のサンプルとなります。

以上が議事3の男女共同参画意識に関するアンケートの説明となります。

【阿部委員長】

ご意見等ございませんか？今までの色々な意見を踏まえて調整して、改善してきたものなので大丈夫かなとは思いますが。なければ次に進みたいと思います。議題の「4 第8次石狩市男女共同参画推進委員会の意見」について事務局は説明をお願いします。

【事務局（山本主査）】

それでは、続きまして第8次石狩市男女共同参画推進委員会の意見についてご説明いたします。

資料は【資料4 第8次石狩市男女共同参画推進委員会の成果】になります。

第8次委員会の委員の皆さまの任期は平成30年度末となっており、3年間の成果と課題をまとめて、次期第9次委員会に継承していきたいと考えています。過去2年間の成果ですが、平成28年度は、第3次計画の初年度ということもあり、ご意見を受けてたくさんの新規事業に取り組んでまいりました。

アンケートの実施概要、これは実施方法や自由記述の内容、周知チラシの同封などアンケートに関する全般についてご意見をいただいております。

次に、ロールモデルについては、沼田委員にモデルになっていただいたほか、袴田委員の知人をご紹介いただきました。毎年度、少しずつですがモデルを増やしていきパネル展等で周知をしているところです。

次に、若年層への啓発部分でPTAとの連携事業についてのご意見をいただき、平成29年に宍戸委員が所属されている石狩市PTA連合会と連携した講演会の実施を実現いたしました。

また、伊藤委員の勤務されているこども・コムステーション・いしかりが管理運営しているこども未来館あいぼ一とでの啓発活動も実施しております。

その他、西澤委員が勤務されている石狩南高校でのデートDV講座を伊藤委員が講師となり実施、これに加え今年度は石狩翔陽高校でも実施を予定しております。

平成29年度は、主にアンケートについて、回収率向上に向けてWeb回答の導入や結果公表方法などのご意見をいただきました。

このように、各委員にご協力いただき石狩市の男女共同参画事業を推進してきたところです。

成果については以上です。

本日は課題と言いますか、特に第3次計画の中で継続あるいは拡充したほうが良い施策事業、それと未掲載で今後必要と思われる施策事業について、ざっくばらんにご意見をいただきたいと考えています。

【阿部委員長】

ありがとうございます。今日まとめるという訳ではなく、できるだけ多くご意見をいただくということですので、活発なご審議をお願いします。

【新田委員】

協議事項の一つめ「継続して実施する施策事業や拡充したほうが良い施策事業」についてですが、所管課が広聴・市民生活課に限らずということですか？

【事務局（山本主査）】

そうです。ご意見がなかったから継続や拡充をしないという訳ではないので、特に継続や拡充をしたほうが良いと思うものがあればご意見をいただきたいと思います。

【岡本副委員長】

実際に行政で手ごたえを感じている事業や、この点で意見が欲しいなどを教えていただけると考えやすいと思います。

【事務局（山本主査）】

周知啓発に関しては、様々な媒体を利用するなど色々工夫をしてくれているのですが、なかなか計画の成果指標の数値に反映されていない状況です。まだ工夫することがあると感じてはいるものの、その部分でご意見をいただきたいです。

【宍戸委員】

やはり、継続や拡充も大切ですが、それよりも周知と情報発信がとても大事だと思いますね。PTAでも良い意見が出て、それをどうやって保護者に伝えていくかということが課題です。子育てアプリはとても良いものだと思います。登録者が200人程というのは、とても少なくともいいと思います。産婦人科などに置かせてもらえば登録者が増えるのではないかと思います。

【袴田委員】

これからどこに置いていこうと思っているのかを知りたいです。

【事務局（山本主査）】

この事業は子ども政策課が行っている事業なので、申し訳ありませんが、当課では詳しい周知体制を把握していません。

【伊藤委員】

石狩市で作成しているデート DV のパンフレットについてですが、他市町村からの評判がとても良いです。なので、このパンフレットをもっと活用してほしいと思います。実際にデート DV 講座の講師をしてみて、伝えたいことはたくさんあるのに時間が足りなくて伝えられないということがありました。そういったときに、あとで見て理解を深められるものなので、もっと良い活用方法はないかと思います。

【事務局（山本主査）】

2年前まで高校に関しては、パンフレットを配布するだけで終わっていたものを、デート DV 講座を実施するようになって、より理解を深められているのではないかと思います。リーフレットについては、小中学生だけではなく、保護者に向けた啓発も行っています。先ほど、岡本副委員長からのご意見にもありましたとおり、来ている人だけへの周知ではなく、来られなかった人への周知や来た人に学んだことを家族や友人に伝えてもらうことによって、もっと多くの方へ周知することができるのではないかと思います。

【伊藤委員】

デート DV の冊子を中学校に置いていただくのは可能なのでしょうか？

【事務局（山本主査）】

今は中学校の PTA 事務局に配布しています。

【伊藤委員】

生徒全員に配布とは言いませんが、数冊でも置いてもらえたら気になった生徒がこっそり持っていけるので良いのではないかと思います。こども未来館で置いていた時があって、少し家庭内に問題がありそうな子がそれを手にとって「自分の家で起こっていることは DV かもしれない」という話をしたこともありました。

【袴田委員】

第3次石狩市男女共同参画計画年次報告書の中の人権教室の部分ですが、実施校が市内全校ではないのはなぜでしょうか？できれば「継続」ではなく「拡充」していただきたいと思います。

【事務局（山本主査）】

人権教室は、人権擁護委員が学校や認定こども園に人権教室の実施について依頼をして、お返事があったところで実施している状況です。実施できていない学校等については、授業のカリキュラムなどの関係で実施が難しいという原因が多いです。ただ、去年は花川北中学校で携帯電話の使い方に関する人権教室を行いました。そういった意味では少しずつですが膨らんできているのではないかと思います。

【鎌田委員】

小学校や中学校では、対象の学年は決まっているのですか？

【伊藤委員】

対象は全学年ですが、学校から指定された学年で実施しています。

【宋戸委員】

花川南中学校でPTA会長をしています。授業のカリキュラムはとても厳しい状況です。ただ、学校としても人権擁護などの道徳の分野の重要性も気に掛けてきています。今年度、研修委員の担当校になっていまして、auのスマートフォン被害の担当部署の方に来ていただき、研修をします。直接生徒にという考え方だけではなく、PTAや地域に働きかけることにより、広がっていくのではないかと思います。

【阿部委員長】

中学校は、やはりカリキュラムは厳しい状況なのですね。小学校はどうなのでしょう？

【沼田委員】

南線小学校のPTA会長をしています。小学校も外国語の授業が入ってきているので、中学校と同様に厳しい状況だと思います。先ほど宋戸委員もおっしゃっていましたが、学校の授業内で実施するのは難しくても、PTAの研修などで実施して、それを先生が見て生徒に必要なだと感じて動いてくれるということもあり得ますね。

【阿部委員長】

そうですね。まずは保護者に働きかけて子どもにも伝わるように、という形はいいかもしれませんね。ありがとうございます。

【西澤委員】

デートDV講座を実施していただきまして、生徒が意外としっかり内容を理解しているという事を感じました。まだ高校1年生なので、全く関係ないと思っている子が多いのかと思いましたが、付き合うということは人を大事にすることなんだと気づいたようでした。また、2年生3年生が「今日何かあるの？」と聞いてきて、「デートDV講座だよ」と言うと「デートDVね」という感じで1年生の時に受けたデートDV講座がしっかりと頭に入っているのだと思いました。私は教員なので、学校側の意見としては、カリキュラムについては北海道教育委員会から交通安全、薬物、性教育の講座は必ず実施しなさいと言われるので、石狩南高校では性教育の部分をデートDV講座として実施しています。なので、学校との連携については、市の教育委員会に働きかけてみるのもいいのかなと思いました。

【事務局（山本主査）】

教育委員会との連携ということですね。昨年度は石狩市PTA連合会と連携して講演会を実施していますので、今後更に良い関係を築いていければと思います。

【阿部委員長】

ありがとうございます。他にございませんか？なければその他に移ります。事務局から事務連絡等をお願いします。

◇その他

【事務局（山本主査）】

本日予定していました議事につきまして、全て終了いたしました。ありがとうございました。岡本副委員長が所属されているさっぽろ青少年女性活動協会が管理している札幌市男女共同参画センターの事業の女性リーダー養成研修とガールズ相談について、岡本副委員長から情報提供があります。

～岡本副委員長から情報提供～

最後に次回日程についてですが、9月下旬から10月上旬を予定しております。議題といたしましてアンケート結果の報告と本日いただいた皆様からのご意見をまとめる作業をしたいと考えております。アンケートにつきましては、8月下旬から9月上旬・中旬を目処に実施いたしますので、調査結果を集計するお時間をいただき、第2回推進委員会の開催時期の目処が立ちましたら、日程調整のご連絡を差し上げますのでよろしくお取り計らい願います。

また、議事の1男女共同参画実施事業でも触れましたが、今後の事業実施にあたり、委員のみなさまに随時ご案内を差し上げますので、積極的なご参加ご協力を賜りたいと存じます。

◇閉 会

【阿部委員長】

以上を持ちまして、平成30年度第1回石狩市男女共同参画推進委員会を終了します。
長時間にわたってご議論いただき、ありがとうございました。

平成30年8月14日議事録確定

石狩市男女共同参画推進委員会

委員長 阿部 包